

明治三十二年

雲山金鑛状況

外務省

6-0316

0091

2.

冊一二月廿日接受

通商

公第千六第

津

受二五九〇三號

通商

雲山金鑛伏見關今田地方情况視察ノ
序シテ富飯附有馬警部ヲシテ同地方ノ之等
リ眞察セシメ其処ニ本ノ通リ復年及来ノ付
為ニ其考夫共電覽ニ尤モ自然右報告書
ニ公系ノ都合有之ハハ富飯警部及ノ視
察云々等ノ字句ハ一ノ成ニ辭忘れぬハ言ラサ
ハ今後該地ノ状況眞察上ニ支(ハ)助ス甚矣
付ニ如念中 永矣敬具

明治三十四年

十二月七日

在外公館(平壤) 主任 新庄順

外務書記生

新庄順

明治三十四年二月十六日

在外公館(平壤)

外務大臣子爵青木周藏殿

6-0316

0092

復命書

明治三十三年十月廿日出張。余等今日出発。先日雲山郡泥踏(俗ニルパルビ)金山ノ状況ヲ視察スルヲ如シ

本金鑛ハ未國人「ハント」所屬ニ屬シ雲山邑北方凡ソ一里半魔境(フイノカイ)ノ下ニ在リ四方小山ニテ鑛山ハ中央ニ

特ニ直立大凡五拾直周圍七八町若クハ十町其形状圖ノ如シ二箇ノ坑アリテハ西南ニ面シ他ハ東北ニアリ昼夜二百四十五ノ

坑夫ヲ以テ採鑛ス坑中ニシテ敷設シ運送ラ便ス坑ノ入口ニ捲上ケ器アリテ鑛石ヲ取リ他器ニ移シテ三十箇外ニコロシテ

運ビ出タシ之ヲ馬車七八輛ニテ春揚所ニ送ル始メ荒ラ割リテ爲シ次ニ本春ニ送ル此處ニ杵二十箇排列シテ春ケバ

(春ケ一箇八四五回轉ス)流水砂ヲ送リ出シ金分ノミヲ止ム高ホ其破中金分アルヲ以テ再ニ取リ以テ未固ニ送リ分拆スト云フ坑中

在外公館(平壤)

段リ四層トシ幾十ノ坑穴アリテ其状蜂ノ巢ノ如シト株堀別ニ困難ナク且ツ地下ニ深ク入ルル流ニ金質良ニシテ出額多ク今後永年採取ノ見込アリ故ニ高ホ四十箇ノ杵春ヲ増スノ計畫ナリト云フ

一出額高一周間毎ニ長八インチ中四インチ厚三インチ

此重量凡ソ二十貫目ノ塊一箇ヲ出ス

一金質十分ノ七

一杵二十箇

一西洋人二十人 又配人ハント醫師一名

一日本人十一人 男八 機師中ニ鍛冶職一ト云フ 女三

一坑夫四百人 十給金五十元、四十元、三十元ノ三等ニ分ツ

一支那人四五十人アリテ馬車ヲ以テ鑛石ヲ運搬シ其他雜役ニ從事ス

一韓人戸數百四五十戸

河野

一 韓政府の出額高四分一ヲ納税スルノ約ナルモ監督負出張
ナキ依リ思フニ其出額ノ幾千ナルヲ知ルニ由ナルベシ雲山郡守
ニ聞ク一ヶ月六千圓ヲ納税スト云フ

一 電信ハ土月中架設韓政府ト特約アリ年三千五百圓ヲ納
私信ハ別ニ普通料ヲ徴収スト

一 大廠(俗ニホクチン)金鑛モ全クレバント所有ニシテナルハ
ヨリ北方凡ソ七里在リ此處ニ株數四十箇アリテナルハ此
出額多量金質十分八ナリト云フ未國人凡ソ二十三人日本人
八人坑夫五六百人アリ其出額ノ量數及ニ他ノ模様詳細分亮
モナルハレニ比テ好況ノ方ナリ

一 古面鷹峯、古面棘成洞、北面於自里
右三箇所ノ鑛山モ全手於テ將カニ採掘ニ着手セントスルノ
模様ナリ

在外公館(平壤)

右ナルハレニ及ニホクチンニ要スル器械其他一切ノ雜品ハ
仁川ヨリ和船ヲ以テ安州清川江ニ運漕シ江口ヨリ七八里
上流安州邑後方車正近大潮ノ時ハ三百石積ム舟ハ優ニ
入船シ小潮ハ二里下ニ於テ舟積移シ車正迄送ル此處ニ
荷物積取取アリテ未國人一名交渡ノ任ニ當ル之レヨリ牛
車ヲ以テナルハレニ送ル此里程十一里半積賃千ポンド
七圓ノ割ヲ以テ給シ一車凡ソ千五百ポンド積ム車正ヨリ四五
日(重量重キ者ノ里數ノ割ヨリ日數ヲ要スト云フ)ニシテナルハレニ達ス夏
期多水ノ時車正上流九竜江迄韓船ヨリ運漕シ之レヨリ
陸送ス凡ソ七里半ニシテナルハレニ達ス車正ヨリ鑛山迄ノ道
路至テ良ク清川江上流ヲ四回横ヨルト至ルニ困難ノ
模様ナレナルハレニヨリホクチン迄ノ道路モ全ク良道ナリト
云フ

別紙圖揚載也

右及復余候也

明治三十二年十二月四日

平壤分館附

警部有馬高孝

在外公館(平壤)

6-0316

0095

